

COLLECTION
EXHIBITION

Phase III

コレクション展 第Ⅲ期

part 2
featureMasuo
Ikeda

特集 池田満寿夫

2026 10.15(木) → 12.27(日)

会場 2階展示室



池田満寿夫「ヘビカソのギター」A 1995年

11.3(火祝) 無料開館日

東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

開館時間 | 9:00-17:00(入館は閉館30分前まで) 10.25(日)、11.22(日)、12.20(日)※は19:00まで開館(※コレクション展第Ⅲ期 Part 2のみ開催)
休館日 | 月曜日(祝・休日の場合は翌平日) 会場 | 東広島市立美術館 3階展示室(Part 1)、2階展示室(Part 2) 主催 | 東広島市立美術館 / 〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9-1 TEL 082-430-7117 FAX 082-430-7118 観覧料 | 一般300(240)円、大学生200(160)円、75歳以上・高校生以下無料* *学生証や年齢を証明できる証明書をご提示ください(0内は20名以上の団体料金/身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方は、無料でご覧いただけます。受付で各手帳等(アプリ/マイロID)も利用可能)をご提示下さい。

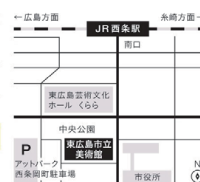
Instagram: hhmooa_photo X: toumei_hhmooa Facebook: 東広島市立美術館公式 hhmooa.jp

交通アクセス

- 電車 | JR山陽本線「西条駅」南口から約400m(徒歩約10分)
- 新幹線 | JR山陽新幹線「東広島駅」から「西条駅」行バス「中央公園前」下車すぐ(バス約20分)
- 自動車 | 山陽自動車道「西条インターチェンジ」から約10分

提携駐車場のご利用で2時間まで無料

- アットパーク西条岡町駐車場: 全日
- 東広島市役所駐車場: 土日祝日のみ利用可



池田満寿夫(1934-1997)は版画家として国際的に評価され、作陶や文芸、映画製作など多彩に活躍しました。本展では、近年新収蔵となった版画や美術資料に、作家アトリエに遺された陶芸作品を交えて、池田満寿夫の世界を特集展示します。

本展のみどころ

近年収蔵し、初公開となる池田満寿夫作品含む約40点を展示いたします。版画を中心とした池田の多彩な活動と豊かな交友関係にご注目ください。

東広島市立美術館(広報担当: 井上 学芸担当: 吉永)

〒739-0015 広島県東広島市西条栄町9番1号

TEL: 082-430-7117 FAX: 082-430-7118

E-MAIL: 2636026@izumi-techno.jp WEB: https://hhmooa.jp/

東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

■ 開催概要

展覧会名 | コレクション展第Ⅲ期part2 特集 池田満寿夫

会 期 | 2026年10月15日（木）～12月27日（日）

時 間 | 9：00～17：00（入館は閉館30分前まで／10月25日（日）、11月22日（日）、12月20日（日）は19：00まで開館）

休 館 日 | 月曜日（祝・休日の場合は翌平日）

会 場 | 東広島市立美術館 2階展示室

主 催 | 東広島市立美術館

観 覧 料 | 一般300（240）円、大学生200（160）円*、75歳以上・高校生以下無料*

※11月3日（月・祝）は無料開館日

※（ ）内は20名以上の団体2割引

*学生証または年齢が確認できる証明書をご提示ください

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられている方は、無料でご観覧いただけます。

■ 展示構成

第1章 リズム

池田満寿夫は上京後貧しい暮らしのなかで母に宛てた手紙に、今一番つらいことはラジオがなく音楽に接していないことだと記しました。本章では、それほど音楽を求めた池田が、晩年バイオリニスト・佐藤陽子との暮らしのなかで制作した楽器をモチーフにした作品を展示します。また、池田がよく用いた反復技法に着目し、画面内に同じモチーフをいくつも配置することで独特のリズムが生み出された版画作品をご紹介します。



池田満寿夫《ピカソのギターA》1995年

第2章 伝統への意識

1983年から池田は、自身の予想を覆す創造が秘められた作陶にのめり込んでいきます。池田にとって作陶は日本の伝統を自覚させるものであり、作陶から始まった「日本回帰」は、次第に版画作品にも表れるようになります。本章では、館外からお借りした1983年以降に制作された陶芸作品5点に加え、当館所蔵の版画作品のうち仏教的要素を持つ作品や、琳派の影響が見られる作品をご紹介します。

第3章 時代を共有した作家たち

池田は高校時代から20世紀の巨匠パブロ・ピカソに傾倒しており、ピカソの交友関係を羨んでいましたが、自身もまた、幅広く豊かな人脈を築いていました。本章では当館のコレクションから、池田と親交のあった顰嘔、瑛九、高橋秀、北川健次の作品をご紹介します。同時代を歩んだ作家たちの作品を通して、池田の生涯をより深く感じていただければ幸いです。



瑛九《旅人》1957年

■ 関連イベント

1 ギャラリートーク

担当学芸員が展示の見どころについてお話ししながらご案内します。

日時 | 12月12日(土) 14:00～14:30

会場 | 2階展示室(要観覧券・申込不要)



※画像は過去のイベントの様子です

2 ベビーカー・ツアー

ベビーカーで赤ちゃんと一緒に参加できる保護者向けの館内ツアーです。

授乳室など館内の設備と展覧会をご案内します。

赤ちゃんを連れてはじめて来館する方にもおすすめです。

日時 | コレクション展 第Ⅲ期 part2: 12月20日(日) 10:30～11:00

講師 | 担当学芸員、美術館ボランティアほか

会場 | 1階ロビー、展示会場ほか

定員 | 各回3組程度(事前申込制) ※1組3名まで申込可

対象 | ベビーカーや抱っこひもを使っている1歳半くらいまでの子どもの保護者

参加費 | 要観覧券

締切 | 開催日の5日前まで



※画像は過去のイベントの様子です

3 ナイトコンサート

古楽器によるバロック音楽コンサートを行います。

クリスマスの季節に適した親しみやすい楽曲をお届けします。

日時 | 12月20日(日) 17:30～18:10

演奏 | 古楽アンサンブル「カメラータアンティカセとうち」

会場 | 1階ロビースペース(観覧無料・申込不要)



※画像は過去のイベントの様子です

■ 広報用画像

本リリースに掲載している画像を広報用にご用意しています。ご利用を希望される場合は、媒体名、発行日、ご担当者名、連絡先、ご希望の画像を記載の上、東広島市立美術館広報宛にメール(2636026@izumi-techno.jp)にてご連絡ください。画像使用の際は以下にご注意ください。

- ・本展覧会広報目的での使用に限ります。使用可能期間は本展覧会期終了までとなります。使用後はデータの破棄をお願いいたします。ただし、本展のレビュー記事についてはこの限りではありません。
- ・画像の二次使用はご遠慮ください。
- ・展覧会名、会期・会場名のほか、画像の使用時には画像クレジットを必ずご掲載ください。
- ・作品画像は全図でご使用ください。トリミングや文字を重ねるなど画像の加工・改変はご遠慮ください。
- ・概要など確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で本展覧会広報事務局(申請先に同じ)までお送りいただきますようお願いいたします。
- ・掲載及び放送後は、お手数ですが、掲載誌・同録DVDを広報事務局へ1部で送付願います。